

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/challenge2050/>

「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して ~トヨタ環境チャレンジ2050~

トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、

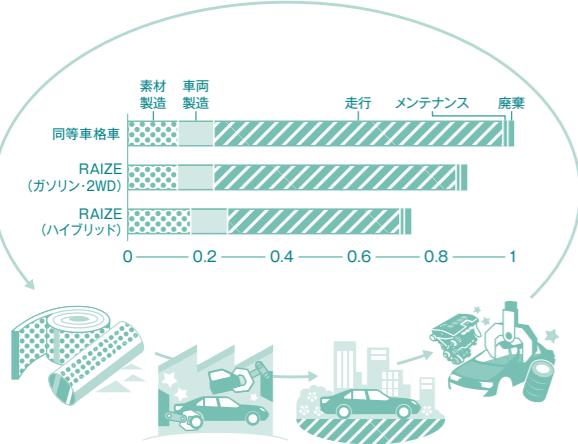
これまで幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、

地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための

6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ と、プラスへのチャレンジ)を実施していきます。

CO₂ “0”へのチャレンジ ~環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み~

CO₂ 0 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ



トヨタはクルマの一生のCO₂削減をデザインしています
トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。

CO₂ 0 新車CO₂ゼロチャレンジ



燃費の良いクルマを選ぶと、CO₂の削減に協力できます
クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO₂の排出量を削減することができます。トヨタでは、燃費を向上させるために、あらゆる部品の軽量化や効率化を推進しています。

CO₂ 0 工場CO₂ゼロチャレンジ



トヨタはエコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています
RAIZEをつくる工場は、エンジンから車両までを一貫生産する効率の良い工場です。1mm・1g・1円・1秒にこだわり、且つシンプル・スリム・コンパクトなものづくりに取り組むことで、省資源・省エネにも大きく貢献しています。私たちは今後も環境にやさしい工場を目指し活動していきます。

地球環境へ “+”のチャレンジ ~より良い環境をつくるための トヨタの取り組み~

人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ



トヨタの工場では、緑をつなぐ 活動をひろげていきます

RAIZEは、敷地内に860種もの動植物が住む、自然に囲まれた工場で作られています。従業員はビオトープや里山を積極的に整備し、絶滅の恐れのあるヤマトサンショウウオ、カヤネズミといった希少種の生息域を保全しています。豊かな自然を守るため、近隣の外来植物の駆除や小学校での環境授業など、地域に根ざした活動をこれからも続けていきます。

トヨタ ライズ 環境仕様

車両型式	5AA-A202A	5BA-A201A	3BA-A210A		
エンジン	1.196	0.996			
駆動装置	前輪駆動方式	四輪駆動方式			
車両重量	kg	1,060~1,070	970	980	1,040~1,050
WLTC	燃料消費率※1 (国土交通省審査値) km/L	28.0	20.7	17.4	
	CO ₂ 排出量 g/km	83	112	133	
JC08	燃料消費率※1 (国土交通省審査値) km/L	34.8	24.6	23.6	21.2
	CO ₂ 排出量 g/km	67	94	98	110
燃料消費率	参考	2030年度燃費基準優良車※2※3			
主要燃費改善対策	ハイブリッドシステム、 アイドリングストップ装置、 可変バルブタイミング機構、 電動パワーステアリング、充電制御	アイドリングストップ装置、 可変バルブタイミング機構、 電動パワーステアリング、充電制御			
認定レベルまたは適合規制値(国土交通省)	平成30年基準排出ガス50%低減レベル※3	平成30年排出ガス規制適合※3			
排出ガス	認定レベル値または 適合規制値 CO/NMHC/NOx g/km	1.15/0.05/0.025	1.15/0.10/0.05		
車外騒音(加速/定常/近接)※4	dB	70(規制値)/-/-71	70(規制値)/-/-76	70(規制値)/-/-75	
冷媒の種類(GWP値※5)/使用量	g	HFC-134a(1,430※6)/400			
環境負荷物質削減	鉛 水銀 カドミウム 六価クロム	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下※7) 自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※8) 自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止) 自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
車室内VOC※9	リサイクルしやすい材料を使用した部品 樹脂、ゴム部品への材料表示 リサイクル材の使用	自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値※10以下) フロント・リヤ・バンパー、インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリムなど あり エンジンアンダーカバー、フェンダー・エクステンション、リヤホイールハウスマーカーなど			

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

■リサイクル料金表(単位:円)

	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダースト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
全車	5,080	1,930	1,650	130	290	9,080

*リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。
詳しくは販売店におたずねください。

※1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。

※3. WLTCモード走行。

※4. 平成28年騒音規制。

※5. GWP:Global Warming Potential (地球温暖化係数)

※6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。

※7. 1965年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。

※8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピューションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

※9. VOC:Volatile Organic Compounds

※10. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。